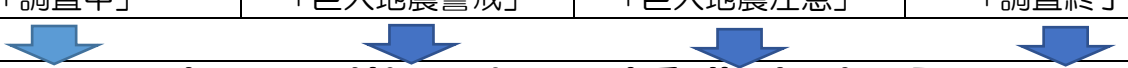


「南海トラフ地震臨時情報」 発表時における対応について

1 「南海トラフ地震臨時情報」が発表されたときの本校の対応

南海トラフ地震臨時情報			
「調査中」	「巨大地震警戒」	「巨大地震注意」	「調査終了」
			
原則、通常通りの授業を行う。			
<ul style="list-style-type: none"> ・次の対応に備えて地震関連の情報を収集し、安全確保に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業後の活動（部活動等）は実施せず、下校する。 ・校外での学習は中止。 	<ul style="list-style-type: none"> ・通常通りの教育活動を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・通常通りの教育活動を行う。

※原則として授業を実施しますが、交通機関の状況や地域の危険度から判断し、校外学習の延期・中止や臨時休校となることがあります。その場合はマチコミメールにてお知らせします。

◎「南海トラフ地震臨時情報」に付記するキーワードとその条件

キーワード	発表条件
調査中	<ul style="list-style-type: none"> ○下記のいずれかにより臨時に「南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会」を開催する場合 <ul style="list-style-type: none"> ・監視領域内でマグニチュード6.8以上の地震が発生 ・想定震源領域内のプレート境界で通常と異なるゆっくりすべりが発生している可能性がある場合など、ひずみ計で南海トラフ地震との関連性の検討が必要と認められる変化を観測 ・その他、南海トラフ地震との関連性の検討が必要と認められる現象を観測
巨大地震警戒	<ul style="list-style-type: none"> ○想定震源城内のプレート境界においてモーメントマグニチュード8.0以上の地震が発生したと評価した場合
巨大地震注意	<ul style="list-style-type: none"> ○監視領域内において、モーメントマグニチュード7.0以上の地震が発生したと評価した場合（巨大地震警戒に該当する場合は除く） ○想定震源内のプレート境界において、通常と異なるゆっくりすべりが発生したと評価した場合
調査終了	<ul style="list-style-type: none"> ○巨大地震警戒、巨大地震注意のいずれかにも当てはまらない現象と評価した場合

2 「南海トラフ地震臨時情報」が発表される前に、大きな地震が発生した場合
(大きな地震とは家屋倒壊・火災・交通機関の途絶が予想される場合です。岡崎で震度6以上)

(1) 在校中

- ◎学校で避難をさせます。地震がおさまってから、**学校で引き渡しをします**ので、**迎えに来てください。(※1) 引き渡し方法参照**
- ◎地震に伴う大火災等による二次災害の危険がある場合は、岩津高校に避難することもあります。

(2) 登下校中

- ◎地震がおさまってから、**通学路へ迎えに行ってください。**
- ◎通学路にいない場合は、**学校に迎えに来てください。**
- * 幼児児童生徒と一緒に登下校している保護者は、地震がおさまってから、安全な場所へ避難してください。

(3) 在宅中

- ◎学校は休校になります。安全が確保でき次第、**学校へ安否の連絡をしてください。**

(4) 授業の再開

- ◎授業の再開の時期は、幼児児童生徒の状況、通学路や校舎の状況、地域周辺の事情等を総合的に判断して決定します。

(※1) 【引き渡し方法】

- ◎校内の安全な場所で待機し、「幼児児童生徒引き渡し・緊急時連絡カード」により保護者の方へ引き渡しを行います。安全に留意して**迎えに来てください。**
- ◎引き渡しは、カードに記載された保護者等にしか行いません。児童デイサービス等には引き渡しを行いません。

